

## 普及活動検討会実施報告書

大河原農業改良普及センター

実施月日： 令和7年2月4日

実施場所： 宮城県大河原合同庁舎

### 1 検討内容

No	検討項目
1	令和6年度プロジェクト課題の活動成果について No.1 地域農業の維持・発展に向けた地域計画の作成と実践 No.2 地域特産とうもろこし、そらまめの生産振興による直売所の販売額拡大 No.3 果樹産地の維持・発展に向けた若手果樹生産者を中心としたネットワーク構築
2	令和7年度普及指導方針(案)について
3	令和7年度プロジェクト課題(案)について
4	総合意見交換

### 2 検討委員の構成

(単位：人)

区分	人数	区分	人数
先進的な農業者	2	生活者	1
若手・女性農業者		学識経験者	1
市町村	1	マスコミ	
農業関係団体	1	民間企業	

### 3 委員の評価と普及センターとしての対応方向

検討項目	評価値 平均値	評価結果(コメント, 評価表の要約)	普及センターとしての対応方向
検討課題(プロジェクト課題No.1) 「地域農業の維持・発展に向けた地域計画の作成と実践」	4.0	<ul style="list-style-type: none"><li>地域計画の作成・実践は、地理的状況や地区内農業者の状況により多様なものとなるため、地域の課題を抽出し、意見を出し合い、担い手による討論がしっかりなされていることは評価できる。今後は、新規就農者をはじめとする担い手の育成と支援が重要ではないか。</li><li>地域計画を作成するに当たっては、構成メンバーの中に次世代の方に加わってもらう必要がある。現状維持ではなく、新たな挑戦をしながら新しい農業を創出するという意気込みが大切。身内の後継ぎだけではなく、地域おこし協力隊の活用等、異業種、異地域から新規就農者が誕生するよう、町全体で共に新たな農業のあり方を創出して欲しい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>担い手の育成・支援は、地域農業の維持・発展のためにも重要と考えております。今後とも地区の話し合いが円滑に進むよう支援すると合わせて若い担い手への個別支援も並行して活動して参ります。</li><li>関係機関や団体と連携を密にし、地域外からの人材確保も視野に入れるとともに、その手法及び地域への提案も検討しながら、話し合いが進むよう活動して参ります。</li></ul>

<p>検討課題（プロジェクト課題 No. 2） 「地域特産とうもろこし、そらまめの生産振興による直売所の販売額拡大」</p>	<p>4.2</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村田町の特産品であるとうもろこしの出荷時期が拡大されたこと、適期作業と適期防除により単収と単価が向上したことなど目標に対する成果として評価できる。</li> <li>・LINE グループにより熟練農家の技術が栽培歴の浅い生産者に伝わり、技術継承に有効な手法であると考えられる。また、積極的に情報共有を行うことにより生産者のモチベーションアップにつながった。センター職員の創意工夫と努力の賜物であり、成果が数字に表れたと思う。</li> <li>・販売面の改善を支援することにより、生産者が売ることに対し意識を高めたことが成果につながったと思われる。</li> <li>・出荷できる品物があるのに収穫作業が追いつかない点は今後の課題であると思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作付けできる面積が限られていることから、今後も単収向上を指導するとともに、栽培技術資料等を出荷団体に提供しつつ、団体が主体となって栽培技術の平準化を図れるよう支援して参ります。</li> <li>・今後も、専門家の助言等を受けて直売所の販売促進支援を進めて参ります。</li> <li>・作型の工夫による収穫時期の拡大やシルバー人材等の雇用活用を進めることにより、適期に収穫が行われるよう今後も指導して参ります。</li> </ul>
<p>検討課題（プロジェクト課題 No. 3） 「果樹産地の維持・発展に向けた若手果樹生産者を中心としたネットワーク構築」</p>	<p>4.5</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普及センターが研修会を企画・開催して後継者世代に参加を呼びかけたり、マルシェなどのイベントへ出展を誘導するなど、生産者が自主的に考え、行動することができるようになったことは、センターの職員が範を示し、引き出したものだと思う。今後の展開が期待される。</li> <li>・多様な交流の機会を設け意見交換ができたことは成果につながった。ベテラン世代との係わりも何らかの形であると良い。</li> <li>・各団体組織が若手農家を積極的に受け入れるよう取り組みが波及して欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度以降は、若手果樹生産者がより主体的な活動を実施できるよう、支援を継続して参ります。</li> <li>・頂いたご意見を参考にし、より広い年齢層で意見交換が行われるよう進めて参ります。</li> <li>・将来的にモデルケースとなるようなグループを育成できるよう、努めて参ります。</li> </ul>
<p>令和7年度普及指導方針（案）について</p>	<p>4.2</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方創生を推進し、若者・女性に選んでもらえる地方をつくるという政府の流れがあるが、農業を生きる術として選択することができれば、大きな成果が挙げられると思っているが、この指導方針の内容はまさに合致している。自信を持って推進していただきたい。</li> <li>・高齢化により農業従事者が減少していく中、少ない労力で多くの面積を耕作管理ができるような支援も普及指導計画に盛り込んでいただきたい。</li> <li>・農外の人々が農業に興味を持つことができるよう説明会などの機会を設けて欲しい。</li> <li>・園芸産出額の増大に向けた園芸産地の育成・強化支援は大変重要である。産地維持には果樹に限らず担い手の確保が重要であり、また、生産から販</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業の持続的な発展に向けて、新規就農者、新規参入者及び定年帰農者など、新たな担い手の確保・育成と地域農業を支える女性の活躍に向けた取組を支援して参ります。</li> <li>・農業の担い手減少に対応するものとして、スマート農業技術への期待が高まっておりますので、今後とも関係機関とともに支援してまいります。</li> <li>・ホームページや普及ブログなどの広報等を通し、普及現地活動状況や地域農業について知っていただく機会を積極的に増やして参ります。</li> <li>・園芸産地の維持・拡大には担い手の確保が重要であり、また、生産から販売まで連結した支援が必要不可欠であることから、関係市町、JAと連携を図り、</li> </ul>

		<p>売まで一連の連携が必要不可欠なものとなり、集出荷団体の積極的な活動が大変重要である。関係施策についてしっかりと支援していただきたい。</p>	<p>関係施策について推進を図って参ります。</p>
令和7年度プロジェクト課題(案)について	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境配慮、省力化、生産性向上、若手の担い手の育成など、的確な課題の解決に取り組んでいることを評価する。</li> <li>新規プロジェクト課題は、大規模農家の規模拡大と生産性向上にむけて、経営支援と技術指導を行うものである。今後、ますます大規模化や法人化が進むので、プロジェクトの波及効果が期待できる。</li> <li>たまねぎについて、リビングマルチによるネギアザミウマの発生抑制の効果が確認できたので、今後の成果を期待する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>頂いたご意見を念頭に置きながら、よりよい成果が出るよう取り組んで参ります。</li> <li>管内では、集落営農を営んでいた法人が第三者に事業承継した事例や、農地整備を契機に水稻と園芸を担う計画を持つ法人が多数設立されていることから、技術面も含め法人経営の早期安定化を目指す新規プロジェクト課題を計画しています。これらが先行事例として波及効果が上がるよう支援して参ります。</li> <li>課題や問題点を更に洗い出し、解決に向けて活動して参ります。リビングマルチを活用したたまねぎの収量は慣行栽培と変わらないことから、環境に優しい栽培方法として、取り組みやすいよう動画でマニュアルの作成を計画しています。</li> </ul>
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>たまねぎの生産拡大については、課題を含んでいるものと認識している。ほ場整備も進んでいることから作付計画との整合など大変重要な取り組みとなる。現体制の状況確認と課題の整理、改善策について検討いただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>たまねぎの生産拡大には、生産から販売まで連結した支援が重要であることから、JA等と連携を図り、関係施策について推進を図って参ります。</li> </ul>

※：検討項目数に応じて欄を追加し記載する。